D01123101B

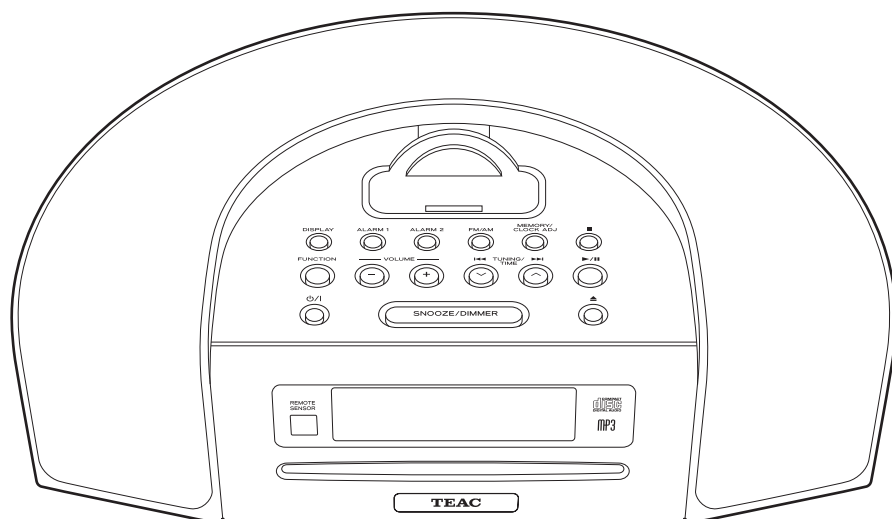
TEAC

取扱説明書

SR-L280i

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

iPod/iPhone対応ステレオCDラジオ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

本製品には以下の iPhone 用のアダプターが含まれています。

iPhone 4
iPhone 3GS, iPhone 3G

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

リモコン(RC-1263)×1(B:黒 W:白)
リモコン用乾電池(単4形)×2
本体バックアップ用リチウム電池(CR2032)×1
ドックアダプター×2
(iPhone 4)
(iPhone 3GS, iPhone 3G)
ドックカバー×1
ステレオミニプラグケーブル×1
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
ACアダプター (PS-M1220JP)×1
取扱説明書(保証書付き)×1

使用上の注意

● ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。

● 再生中はディスクが高速で回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

● 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたままの移動は、故障の原因となります。

● 本機がスタンバイ(オフ)のときでも、待機電力が消費されます。

● テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプター電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

次のページに続きます

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前に音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
	この機器には、付属のACアダプターおよび電源コードを使用する それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	付属のACアダプターおよび電源コードを他の機器に使用しない 他の機器に使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意　乾電池に関する注意

禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

注意　電池に関する注意

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのあるCD (12cm)

8cm CDは使用しないでください。

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3/WMAファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクを再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

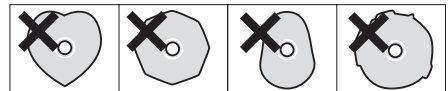
- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3/WMA形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついた場合は、柔らかい布で内側中心から外側に向かって軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

USB機器について

⚠ **注 意**

USBメモリーのアクセス中は、本機の電源をスタンバイに切り換えたり、USBメモリーを抜くことは絶対におやめください。本機やUSBメモリーが故障する原因になります。

本機で使用できるUSB機器

- 本機は、USBマスストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやCD/DVDドライブなどは使用できません。
  USBフラッシュメモリーをお使いください。
  ※ 本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- 使用可能フォーマットは、FAT12/16/32です。
- 本機で対応できる最大ファイル数は999、最大フォルダー数は99です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

注 意

- セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。
- 2つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。
- USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- 本機では、USBメモリー内のファイルを削除したり、移動することはできません。
- NTFS、HFS、HFS+形式でフォーマットされたUSBメモリーは使用できません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

MP3/WMAについて

本機はCD-R/CD-RWやUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット

  MP3 (拡張子「.mp3」)
  ビットレート 32 k bps 〜 320kbps
  サンプリング周波数 16 k Hz 〜 48kHz
  WMA (拡張子「.wma」)
  ビットレート 48kpbs 〜 192kbps
  サンプリング周波数 32、44.1、48kHz

  ※ DRM(Digital Right Management)には対応していません。

- 2GB以上のファイルは再生できません。

ファイル情報の表示について

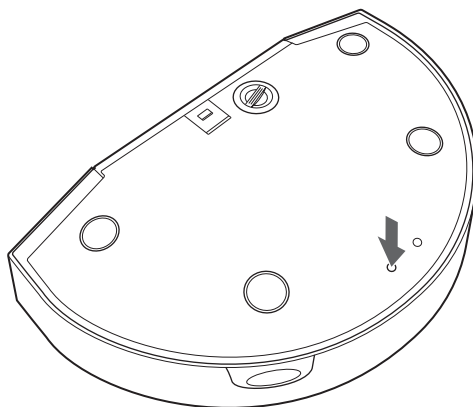
本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ますがディスプレーに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMAファイルを作成する際の注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- CD-R/CD-RWへの記録後は、クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。

強制イジェクトスイッチ

取り出しボタン(⏏)を押してもディスクが取り出せなくなった場合は、以下の手順でディスクを取り出してください。

1 電源をオンにして、本体底部の強制イジェクトスイッチをペンなどの先で押す。

スイッチを押し続けている間、イジェクトモーターが作動し、ディスクが出てきます。

2 つまめる位置まで出てきたらディスクを手で取り出す。

- ディスプレーにEJECT ERRORと表示されている場合はACアダプターをいったん外し、再び接続してください。
- ディスクを取り出した後、NO DISCと表示されない場合は、取り出しボタン(⏏)を押してください。
- ACアダプターが外れている場合、強制イジェクトスイッチは作動しません。

iPod/iPhoneを使うには

本機で使用できるiPod/iPhone

iPhone 4
iPhone 3GS
iPhone 3G
iPod touch (第1、第2、第3および第4世代)
iPod classic
iPod with video
iPod nano (第1、第2、第3、第4、第5および第6世代)

以下の弊社ホームページのiPod/iPhone動作確認表もご参照ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

ドックアダプター

本機の iPodドック には、工場出荷時にカバーが取り付けられています。
そのカバーを取り外し、セットしたいiPodもしくはiPhoneに適合したドックアダプターを取り付けてください。

iPhoneをセットするとき

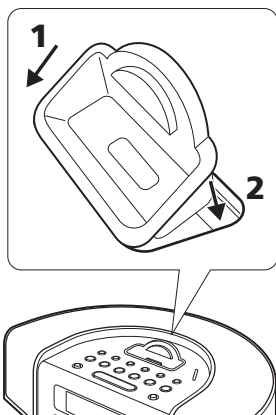
➡ 本機に付属のドックアダプターをご使用ください。

iPhone以外をセットするとき

➡ iPod付属のドックアダプター、またはApple Storeでアクセサリとして入手可能なアダプターをご使用ください。

ドックアダプターのセット方法

ドックアダプターの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプターの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

● ドックアダプターを外す場合は、左右をつかみ、ゆっくりと引き抜いてください。

iPod/iPhone用ソフトウェア

お使いのiPod/iPhoneが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
下記アップル社のサイトから最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

リモコンの使い方

使用上の注意

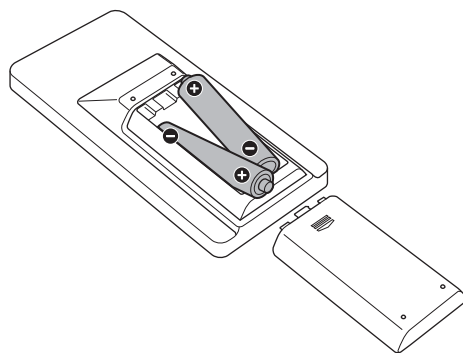
⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

● リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

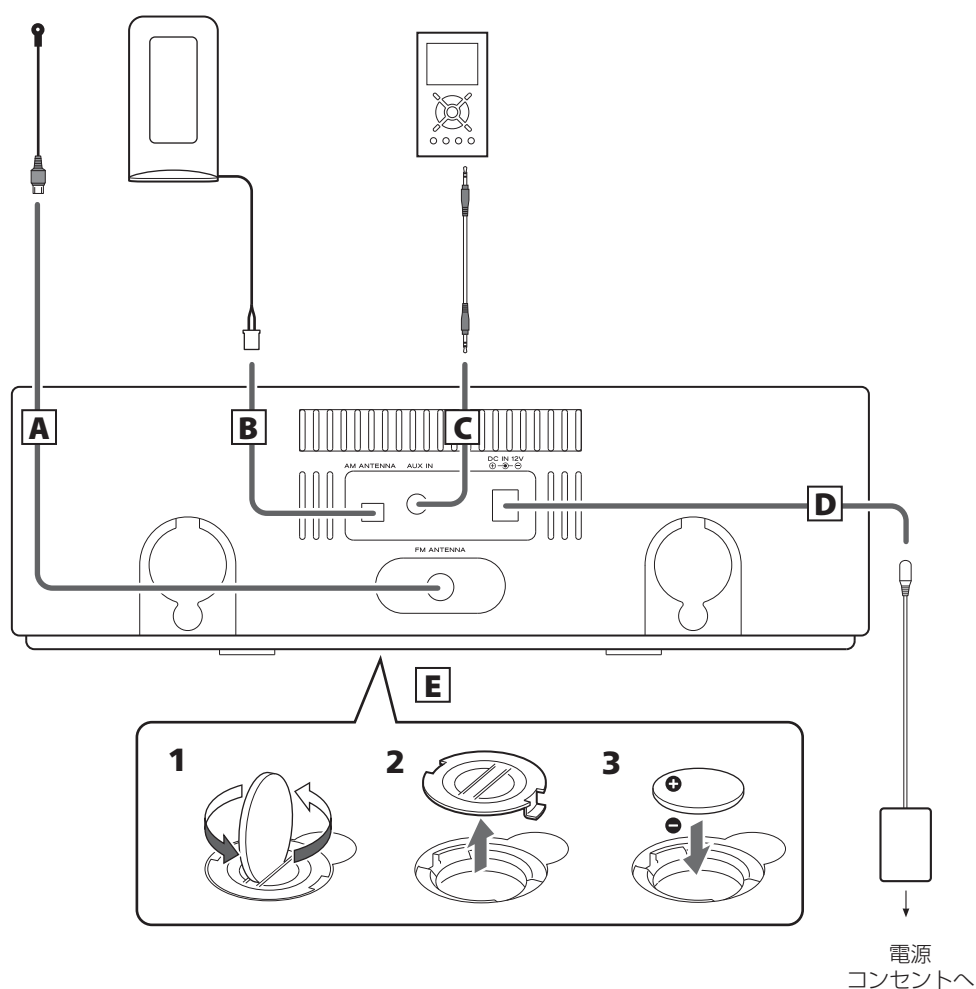
● 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。

● 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単4形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

接続方法

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A FMアンテナ端子[FM ANTENNA]

付属のFMアンテナを接続します。FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探してください。

B AMアンテナ端子[AM ANTENNA]

付属のAMループアンテナを接続します。AM放送の受信中にこのアンテナの向きを変えて、受信状態が一番良くなるような位置を探してください。

C 音声入力端子 [AUX IN]

付属のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子（または音声出力端子）と接続して、本機で音声を再生します。(27ページ)

D DC入力端子 [DC IN 12V]

付属のACアダプターのコードを接続し、ACアダプターのプラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
長期間使用しないときは、コンセントからACアダプターを抜いておいてください。

E 電池ケース

停電などでACアダプターへの電源が供給されない場合、ここにセットした電池により時計や放送局のプリセット情報など各種設定情報を保持します。

電池の入れ方

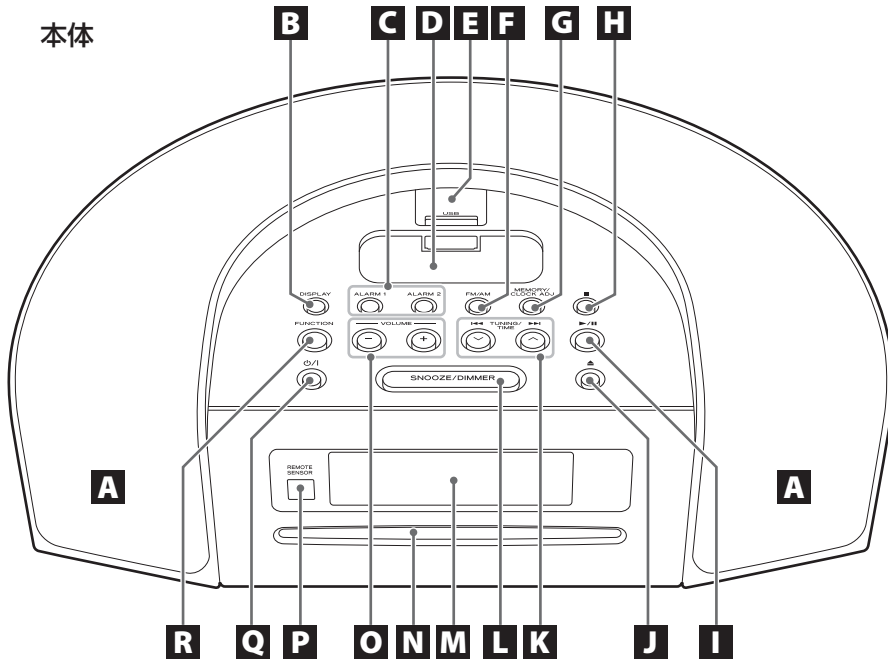
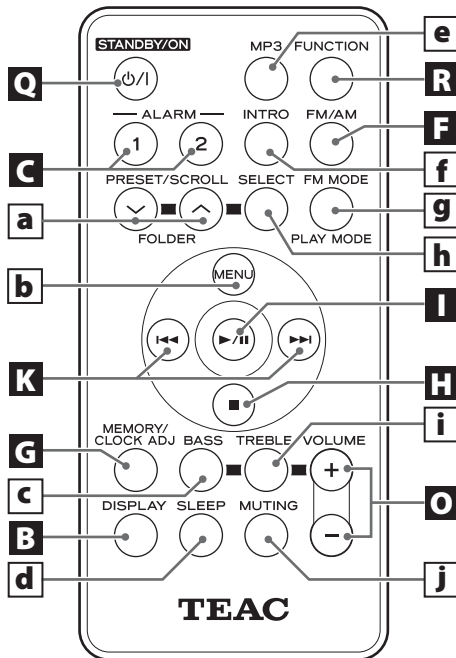
1 コインなどでフタをゆるめてください。
2 フタを取り外してください。
3 ＋表示をフタ側にしてコイン型リチウム電池(CR2032)を入れてください。
4 フタを閉めてください。

電池の交換時期

ACアダプターを外した後や停電の後に、時計が正しく表示されなくなった場合は、新しい電池に交換してください。

⚠ **電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

各部の名称

本体

リモコン

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では主に本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

本体とリモコン

A スピーカー (ステレオ)

B ディスプレーボタン [DISPLAY]

スタンバイではタイマー設定内容のチェックに使用します。CD/USBまたはチューナーモードでは、一時的に時計を表示させます。

C アラーム1, アラーム 2 [ALARM 1, ALARM 2]

2秒以上押すとタイマー設定モードになり、それぞれタイマーをセットできます。タイマーをオン/オフする時にも使います。

D iPod/iPhone用ドックコネクター

適切なドックアダプターを使用し、iPodまたはiPhoneをここにセットしてください。(9ページ)

E USB端子

MP3/WMAファイルが記録されたUSBメモリーを接続することができます。

● iPod shuffleはこの端子では使用できません。

F FM/AMボタン

チューナーモードのとき、このボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。(28ページ)

G メモリー /時刻設定 [MEMORY/CLOCK ADJ]
CDまたはUSBモードのとき、プログラム設定に使います。チューナーモードのときは、放送局のプリセットに使います。また、スタンバイのとき現在時刻設定に使います。

H 停止ボタン (■)
CD、またはUSBメモリーの再生を停止します。

I 再生/一時停止ボタン (►/II)
iPod/iPhone、CD、またはUSBメモリーの再生または一時停止をします。

J 取り出しボタン (⏏)
ディスクを取り出します。

K 選局/タイム/スキップボタン [TUNING/TIME] (I◄◄ / ►►I, ﹀/︿)
チューナーモードのとき、選局に使います。CD、USBまたはiPodモードのとき、曲のスキップやサーチに使います。

L スヌーズ/ディマーボタン [SNOOZE/DIMMER]
タイマー動作中にこのボタンを押すと5分間だけスタンバイになります。
また、ディスプレーの明るさを調整するときに使います。

M ディスプレー
再生時間やラジオ放送局の受信周波数など各種情報が表示されます。

N ディスク挿入口

O 音量ボタン [VOLUME]
音量を調節します。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。(16ページ)

P リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

Q スタンバイ/オンボタン (⏻/I)
電源のスタンバイ(オフ)/オンを切り換えます。

R 再生ソース切換ボタン[FUNCTION]
このボタンを押すたびに再生ソースが切り換わります。ラジオを聴くときはTUNER、CDを聴くときはCD、外部に接続した機器の音を聴くときはAUX、USBメモリーを聴くときはUSB、iPod/iPhoneを聴くときはiPodを選んでください。

リモコン

a プリセット/スクロール/フォルダーボタン [PRESET/SCROLL/FOLDER]
チューナーモードのときは、プリセットした放送局の選択に使います。(29ページ)
iPodモードのときは、メニュー画面のスクロールに使います。(26ページ)
MP3/WMAディスクとUSBメモリーの再生中はフォルダーのスキップに使います。(21ページ)

b メニューボタン [MENU]
iPodのMENUボタンと同じ機能です。
iPodモードのときにこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューを表示します。(26ページ)

c 低音調節ボタン [BASS]
このボタンを押すと、音量ボタンで低音を調節することができます。(17ページ)

d スリープボタン [SLEEP]
スリープタイマーの設定に使います。(17ページ)

e MP3 [MP3]
CDまたはUSBメモリーでMP3ファイルを再生中にこのボタンを押すと、再生中のフォルダー情報、ファイル名、タイトル、アーティスト、アルバム、フォルダー番号、ファイル番号を表示します。(21ページ)

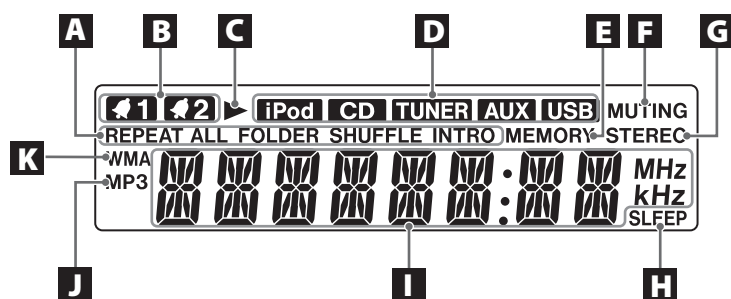
f イントロボタン [INTRO]
CDまたはUSBモードのとき、イントロ再生に使います。(21ページ)

g FMモード/再生モードボタン [FM MODE/PLAY MODE]
FM放送の受信中にこのボタンを押すと、ステレオ受信とモノラル受信を切り換えます。(28ページ)
CDまたはUSBモードのときは、リピート再生、シャッフル再生を選択する時に使います。(24ページ)

h 選択ボタン [SELECT]
iPodの選択ボタンと同じ機能です。
iPodモードのときiPodのメニュー項目の選択に使います。(26ページ)

i 高音調節ボタン [TREBLE]
このボタンを押すと、音量ボタンで高音を調節することができます。(17ページ)

j 消音ボタン [MUTING]
一時的に音を消します。(17ページ)

ディスプレー

A リピートモード、シャッフル、イントロモードのときに点灯します。

B タイマー設定がオンのときに点灯します。

C CDまたはUSBメモリーの再生中に点灯します。

D 電源がオンのとき、選択されている再生ソースを表示します。

E プログラムモード、プリセットチューニングモードのときに点灯します。

F 消音中に点滅します。

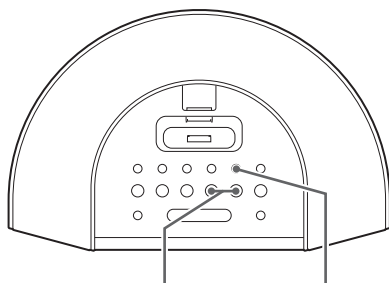
G FMステレオを受信中に点灯します。

H スリープモードのときに点灯します。

I 現在時刻、受信中の周波数、再生経過時間、スリープまでの残り時間、チューナーのプリセットチャンネルなどを表示します。

J MP3ファイルが再生されているときに点灯します。

K WMAファイルが再生されているときに点灯します。

現在時刻の設定

スタンバイのとき、時刻設定が可能です。電源オンでは、時刻設定はできません。

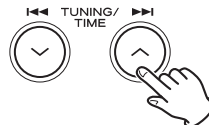
1 時刻設定ボタン(CLOCK ADJ)を押す。

「12H」または「24H」が点滅します。12時間表示と24時間表示を切り換える場合は、タイムボタン(⏮/⏭)を押してください。

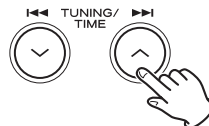
● 10秒以上放置すると、時刻設定モードは解除されます。その場合は**1**からやり直してください。

2 もう一度時刻設定ボタン(CLOCK ADJ)を押す。

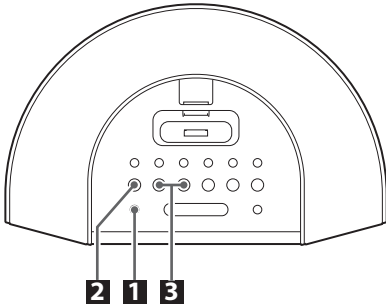
「時」表示部分が点滅します。

3 タイムボタン(⏮/⏭)を押して「時」を合わせる。

4 時刻設定ボタン(CLOCK ADJ)を押す。

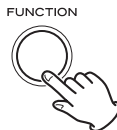
「分」表示部分が点滅します。

5 タイムボタン(⏮/⏭)を押して「分」を合わせる。

6 時刻設定ボタン(CLOCK ADJ)を押す。

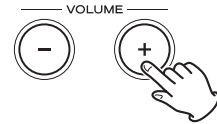
時計がスタートします。

基本操作

1 スタンバイ/オンボタン(⏻/I)を押す。

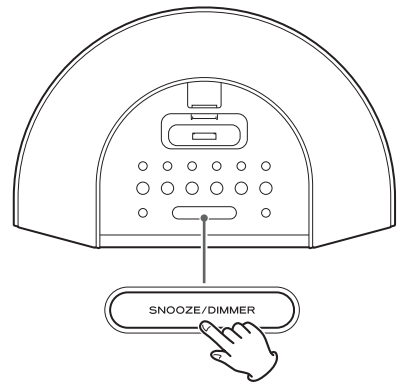
スタンバイ中に再生状態のiPodやiPhoneがドックにセットされると、自動的に電源が入りiPodの再生を開始します。
また、スタンバイ中にディスクを挿入すると、自動的に電源が入りディスクの再生を開始します。

2 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、聴きたいソースを選ぶ。

- AUX IN端子に接続した機器の音を聴くときは、AUXを選択してください。

- iPodやiPhoneをセットせずにiPodモードを選択すると、iPodモードを選択すると、ディスプレーのiPod表示が点滅します。

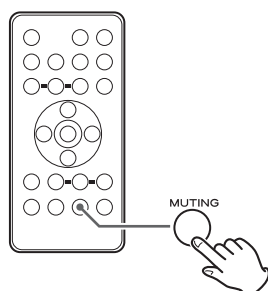
3 音量ボタンを押して音量を調節する。

＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

突然大きな音が出ると、聴覚障害などの原因になることがあります。音量は最小にしておいて、音を出してから適切な音量に調節するようにしてください。

- 音量は最小(0)から最大(30)までの範囲で、調節できます。

ディマー

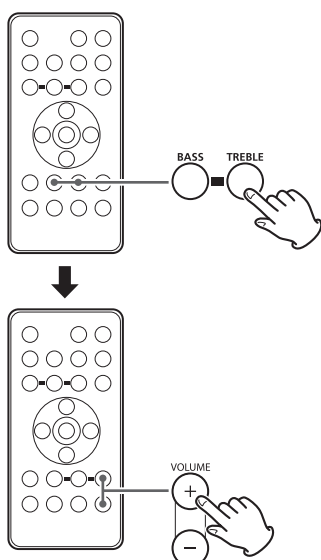
ディマーボタンを押すことにより、ディスプレーの明るさを3段階に調節出来ます。

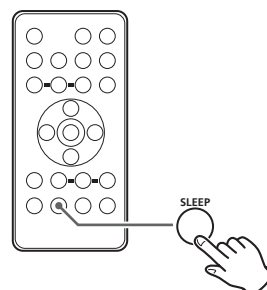
- スタンバイ/オンボタン(STANDBY/ON)を押すと、明るさの設定は解除されます。

一時的に音を消す（MUTING）

消音ボタン(MUTING)を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

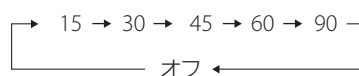
● 消音中は、「MUTING」が点滅します。

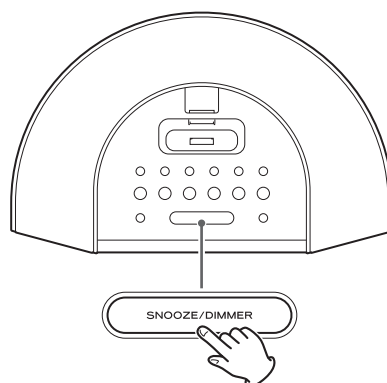
● 消音中に音量ボタンか再生ソース切換ボタン(FUNCTION)を押すと、消音は解除されます。

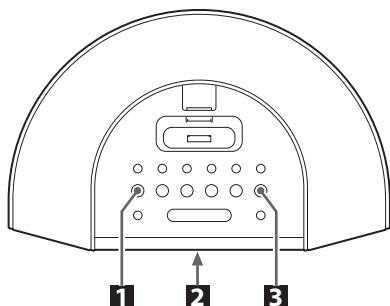
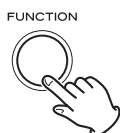
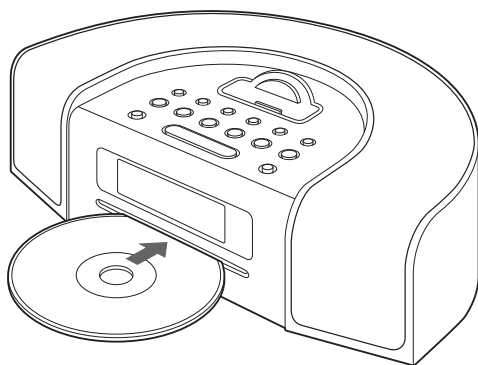
低音または高音を調節する

低音を調節する場合は低音調節ボタン(BASS)、高音を調節する場合は高音調節ボタン(TREBLE)を押してから、3秒以内に音量ボタンを押してください。±5の範囲で調節できます。

スリープタイマー

電源を一定時間後に自動的にスタンバイにする機能です。

スリープボタン(SLEEP)を押すたびに、時間が変わります。15分から90分まで、以下の通り設定できます。

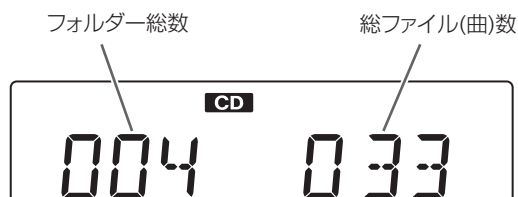
15 → 30 → 45 → 60 → 90 → オフ → 15

● スリープタイマー動作中にスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、スリープするまでの残り時間が数秒間表示されます。

スタンバイ時のディスプレー表示

スタンバイ時に、ディマーボタンを押すと、ディスプレーが10秒間明るくなります。

ディスクを聴く

1 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDを選ぶ。

2 ディスクのレーベル(印刷)面を上にして挿入口に入れる。

CD以外のソースが選択されている場合、ディスクを挿入すると自動的にCDモードになり、再生を開始します。

- ディスクを強く押し込まないでください。
- 複数のディスクを挿入しないでください。
- ラベルやセロハンテープなどをディスクに貼らないでください。
- 特殊形状のCDは、使用しないでください。
- 8cm CDは使用しないでください。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

CDを読み込んだ場合
(例)

MP3またはWMAのディスクを読み込んだ場合
(例)

3 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

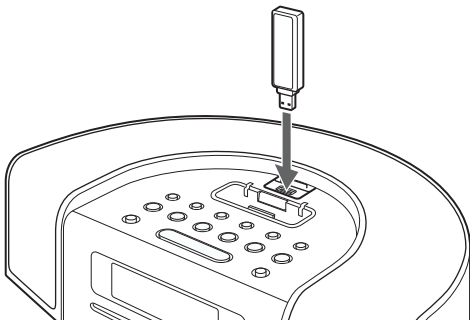
1曲目から再生が始まります。

- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイル(曲)は、001フォルダーに入っているとして認識されます。001フォルダーの1曲目から再生が始まります。
- 全ての曲の再生が終わると、停止します。
- ディスクを取り出すときは取り出しボタン(⏏)を押してください。

再生中は本体を傾けないでください。ディスクにキズをつけたり、故障の原因となる恐れがあります。

USBメモリーを聴く

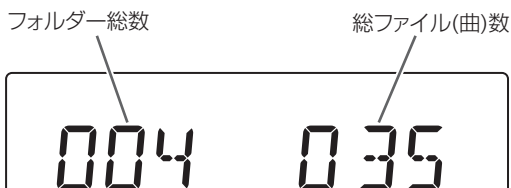
1 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、USBを選ぶ。

2 USB端子にUSBメモリーを接続する。

● **1**と**2**の手順は逆にしても構いません。

● USBメモリーの読み込みには多少時間がかかります。読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーにフォルダー総数とファイル総数が表示されるまでお待ちください。

● USBメモリーがiPodやドックに接触する場合はiPodやドックを取り外してください。

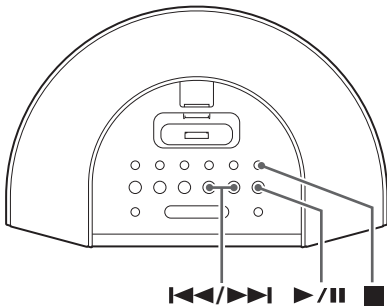
● この端子にiPod Shuffleを接続することはできません。

USBメモリーを読み込んだ場合
(例)

3 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

最初のファイルから再生が始まります。

● フォルダーに入っていないMP3/WMAファイル(曲)は、001フォルダーに入っているとして認識されます。001フォルダーの1曲目から再生が始まります。

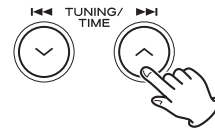
● 全ての曲の再生が終わると、停止します。

CD/USBメモリーの基本的な操作

再生を一時停止する

再生中に再生/一時停止ボタン(▶/II)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

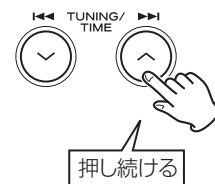
再生を停止する

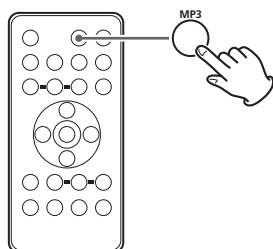
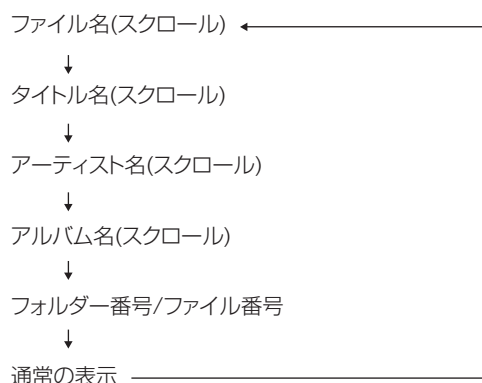
停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

曲をスキップする

再生中に⏭ボタンを押すと次の曲にスキップし、⏮ボタンを押すと前の曲にスキップして再生します。希望する曲番号になるまで、くり返し押してください。

停止中は、⏮または⏭をくり返し押して希望の曲番号を選んだあと、再生一時停止ボタン(▶/II)を押すと再生が始まります。

- 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に従って、前後の曲を選択、再生します。

早送り/早戻しする

再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

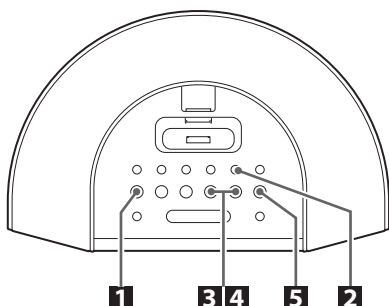
MP3/WMAのファイル情報を表示する

MP3/WMAの再生中にMP3ボタンを押すと、再生中のファイル情報がディスプレーに以下の順番で表示されます。

ファイル名、タイトル、アーティスト名、アルバム名は頭から30文字が表示されます。

フォルダーをスキップする(MP3/WMA)

リモコンのフォルダーボタン(FOLDER)を押すと、前または次のフォルダーにスキップします。

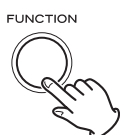
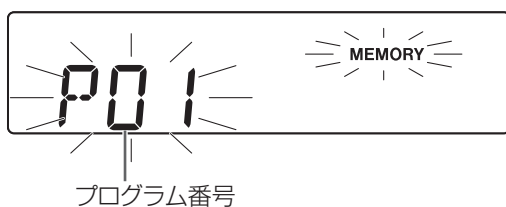
イントロ再生

イントロボタン(INTRO)を押してから再生ボタンを押すと、ディスクまたはUSBメモリー内のファイルの始めの10秒間を順番に再生します。

聴きたい曲になったときに、もう一度イントロボタン(INTRO)を押すと、通常の再生状態になります。

プログラム再生

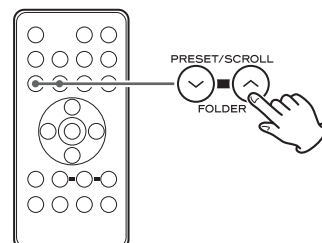
ディスクまたはUSBメモリーの中から、99曲までプログラムして再生することができます。

- プログラムする前に、ディスクまたはUSBメモリーをセットしておいてください。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。

1 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、CDまたはUSBを選ぶ。

2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

プログラム番号

プログラム番号とMEMORY(メモリー)インジケーターが点滅します。

- プログラムを中止したいときは、停止ボタン(■)を押してください。

3 フォルダーボタン(﹀/︿)を使ってMP3/WMAのフォルダー番号を選びます。

CDの場合は、この手順は関係ありませんので4に進んでください。

- フォルダーに入っていないMP3/WMAファイル(曲)は、001フォルダーに入っていると見なされます。

4 スキップボタン(⏮/⏭)を使ってプログラムする曲番号/ファイル番号を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

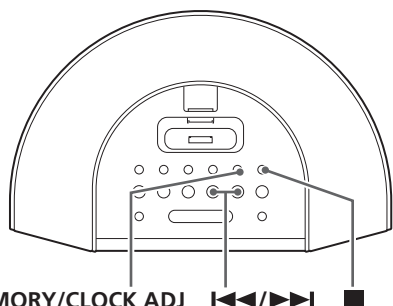
選んだ曲/ファイルがプログラムされて、「P02」(次のプログラム番号)が表示されます。

複数の曲/ファイルをプログラムするときは、3〜4をくり返してください。

- 99曲までプログラムできます。

5 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

プログラム再生が始まります。

- プログラム再生が終わると、MEMORY(メモリー)インジケーターが消灯してプログラムモードが解除されます。
- プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、メモリーボタン(MEMORY)を押してから再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押します。

プログラム内容を確認する

停止中にメモリーボタン(MEMORY)をくり返し押すと、プログラムされたプログラム番号、フォルダー番号、曲番号が順番に表示されます。

全てのプログラム内容を消去する

以下の操作を行うと、プログラム内容は消去されます。

再生ソース切換ボタンでソースを切換える
CDモードのとき、CDを取り出す
USBモードのとき、USBメモリーを抜く
電源をスタンバイにする

プログラムの最後に曲を追加するには

1 停止中に、点滅しているプログラム番号「PXX」が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)を繰り返し押す。

2 フォルダーボタン(﹀/︿)を押して、追加したい曲のあるフォルダーを選ぶ。

MP3/WMAファイルのときのみ必要な手順です。オーディオCDの場合は、この手順は関係ありませんので**3**に進んでください。

3 スキップボタン(I◀◀/▶▶I)を押して追加したい曲を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

選択した曲がプログラムの最後に追加されます。

プログラムの一部を書き換える

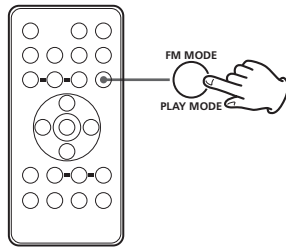
1 停止中に、書き換えたいプログラム番号が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)を繰り返し押す。

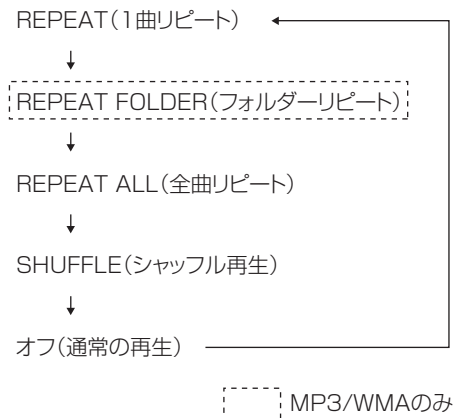
2 フォルダーボタン(﹀/︿)を押して、新しく上書きしたい曲のあるフォルダーを選ぶ。

MP3/WMAファイルのときのみ必要な手順です。オーディオCDの場合は、この手順は関係ありませんので**3**に進んでください。

3 スキップボタン(I◀◀/▶▶I)を押して新しく上書きしたい曲を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

選択した曲に書き換えられます。

リピート/シャッフル再生

再生中に再生モードボタン(PLAY MODE)を押してリピート再生またはシャッフル再生モードを設定してください。停止中の場合は、再生モードボタン(PLAY MODE)を押してモードを設定した後、再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押してください。

再生モードボタン(PLAY MODE)を押すたびに、再生モードは以下のように変わります。

- プログラム再生中はシャッフル再生できません。

- 以下のボタンを押すか、ディスクを取り出すと、リピート再生は解除されます。

  停止(■)、FUNCTION、STANDBY/ON

1曲リピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中にスキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)を使って他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

停止中は、リピートボタンを押してからスキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)で曲を選び、再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

1曲リピート再生中は、REPEATインジケーターが点灯します。

全曲リピート

ディスクまたはUSBメモリーの全曲をくり返し再生します。プログラム再生中は、プログラムした曲だけをくり返し再生します。
全曲リピート再生中は、REPEAT ALLインジケーターが点灯します。

フォルダーリピート（MP3/WMAのみ）

フォルダー内の全ファイルをくり返し再生します。
フォルダーリピート再生中は、REPEAT FOLDERインジケーターが点灯します。

シャッフル再生

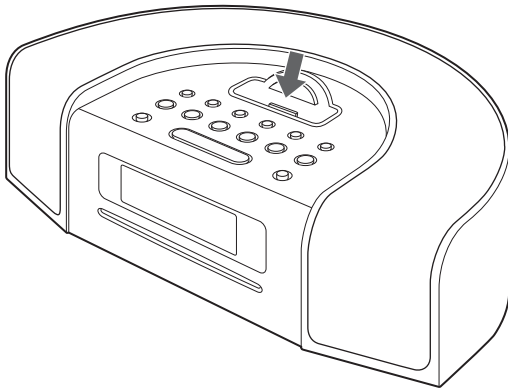
再生中のCD、USBメモリー内の全曲をランダムに再生します。
シャッフル再生中は、SHUFFLEインジケーターが点灯します。
シャッフル再生を止めるには停止ボタン(■)を押してください。

- シャッフル再生中に ▶▶| ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。|◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、|◀◀ ボタンを続けて押してください。

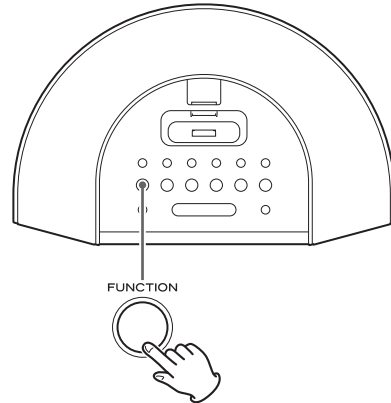
- プログラム再生中にシャッフル再生はできません。

- 全ての曲がランダムに再生された後、自動的に停止します。

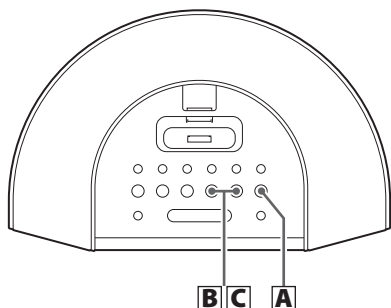
iPod/iPhoneを聴く

本機のドックにiPod/iPhoneをセットしてください。

iPod/iPhoneの再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、本機の電源が自動的にオンになり、再生を始めます。

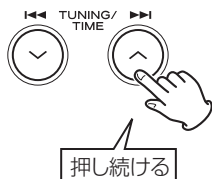
- お使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプターをセットしてからお使いください。(9ページ)
- 本機のドックにiPod/iPhoneをセットすると、常にiPod/iPhoneを充電します。充電が完了すると、充電を停止します。

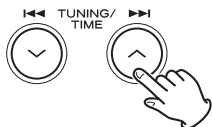
再生ソース切換でiPodを選ぶ

再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、「iPod」を選んでください。ドックにiPod/iPhoneがすでにセットされている場合は、iPod/iPhoneの再生が始まります。

iPod/iPhoneがセットされていない場合はiPodインジケーターが点滅します。

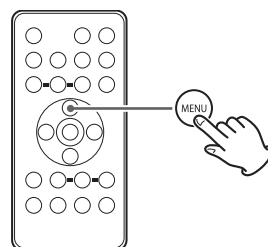
iPod/iPhoneを聴く（続き）

再生を一時停止する

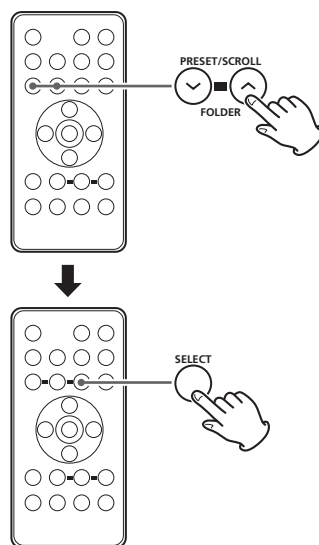
再生中に再生/一時停止ボタン(►/II)を押すと再生が一時停止します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

聴きたい部分を探す（サーチ）

再生中に►►Iボタンを2秒以上押し続けると早送り、I◄◄ボタンを2秒以上押し続けると早戻しができます。
指をはなした部分から通常に再生します。

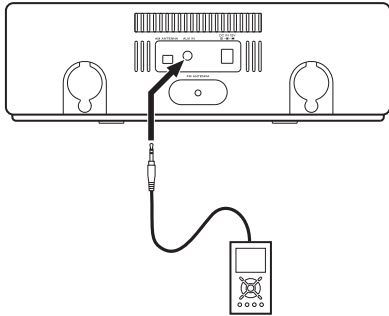
任意の曲から再生する（スキップ）

再生中に►►Iボタンを押すと次の曲に、I◄◄ボタンを押すと前の曲にスキップして再生します。希望する曲になるまで、くり返し押してください。

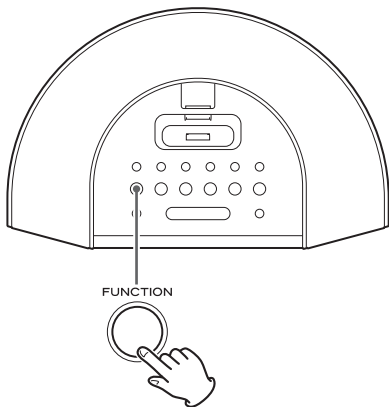
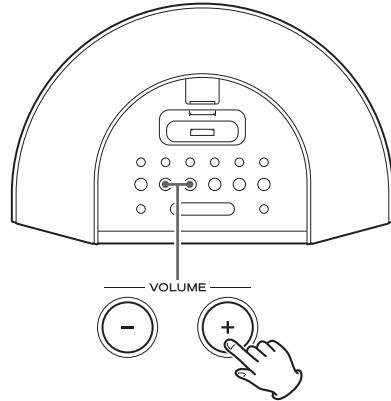
● I◄◄ボタンを1回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ボタンを続けて押してください。

前のメニューに戻る

メニューボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。
iPodのMENUボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶ

スクロールボタン(SCROLL)を使って項目を選び、選択ボタン(SELECT)を押してください。

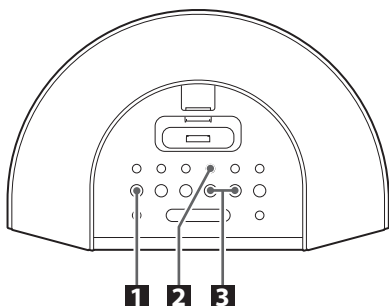
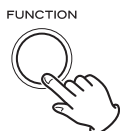
接続した機器の音を聴く

1 携帯型オーディオプレーヤーなどの音声出力端子またはヘッドホン端子と、本機の音声入力端子(AUX IN)を、付属のステレオミニプラグケーブルで接続する。

お使いのiPodにドックコネクターがない場合や、適切なドックアダプターがない場合は、この方法でiPodをお聴きください。

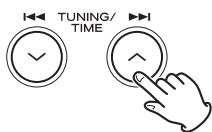
2 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、AUXを選ぶ。

3 接続した機器を再生し、音量ボタン(VOLUME)を押して音量を調節する。

＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。

携帯型オーディオプレーヤー等のヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量も調節してください。ただし、プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがありますので注意してください。

音が歪む場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量ボタン(VOLUME)で適切な音量に調節してください。

ラジオを聴く

1 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)をくり返し押して、TUNERを選ぶ。

2 FM/AMボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

FM/AMボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。

3 選局ボタン(TUNING)を使って聴きたい放送局を探す。

選局ボタン(⏮または⏭)を2秒以上押し続けてディスプレーの周波数表示が変わり始めたら指をはなしてください。
自動的に放送局を受信して周波数表示が止まります。聴きたい放送局が受信されるまで、この操作をくり返してください。

● 自動選局をやめたいときは、選局ボタン(⏮または⏭)を押してください。

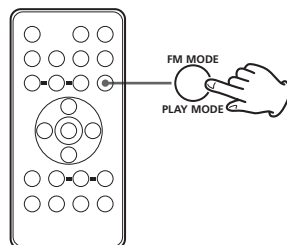
自動選局ができないとき(マニュアル選局)

選局ボタンを短く押すと、AMは9kHz刻み、FMは100kHz刻みで周波数が変わります。自動で受信できない放送局を聴きたい場合は、聴きたい放送局の周波数が表示されるまで選局ボタンをくり返し押してください。

受信状態が悪いときは

受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

FMのステレオ/モノラル切換

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、ステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

ステレオ受信

FMのステレオ放送をステレオで受信するとディスプレーのSTEREO(ステレオ)インジケーターが点灯します。

● 受信状態が悪く、STEREO(ステレオ)インジケーターの点灯が安定しないときは、モノラル受信に変更してください。

モノラル受信

FMステレオ放送の受信状態が悪く、STEREO(ステレオ)インジケーターが点滅しているときにこのモードを選ぶと、音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

放送局のプリセット

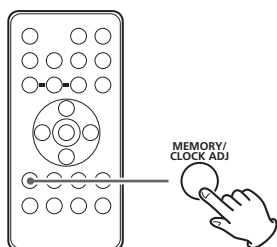
よく聴く放送局を、FM20局、AM20局まであらかじめ記憶(プリセット)させておくことができます。

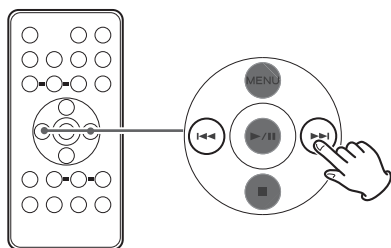
1 プリセットしたい放送局を受信する。

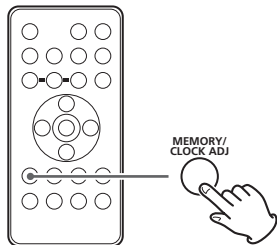
28ページの**1**〜**3**の手順で受信してください。

現在時刻が表示されている場合は、ディスプレーボタンを押して受信中のバンド(FM/AM)と周波数を表示します。

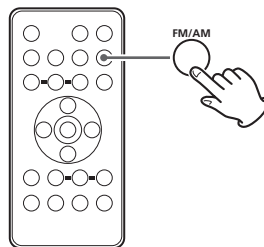
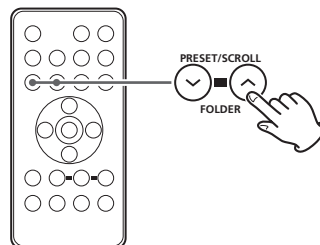
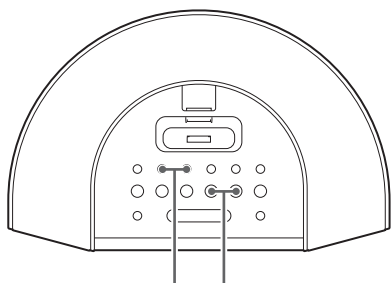
2 メモリーボタン(MEMORY)を押す。

MEMORY(メモリー)インジケーターが点滅します。

3 割り当てたいプリセット番号をリモコンのスキップボタン(⏮/⏭)で選ぶ。

● 10秒以内に選択してください。

4 メモリーボタン(MEMORY)を押して登録する。

● 10秒以内に押してください。

複数の放送局をプリセットする場合は、**1**〜**4**をくり返してください。

記憶した放送局を聴くには

1 FM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。

2 プリセットボタン(PRESET)を押して、プリセットした放送局を選ぶ。

タイマー設定

本機は2つのタイマーを設定できます。
タイマーで設定した時間になると、電源がオンになり、60分後にスタンバイ(オフ)になります。
タイマーを設定する前に、現在時刻を設定してください。(15ページ)

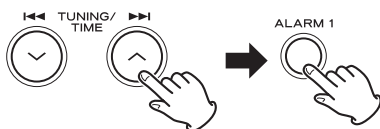
1から5はアラーム1を設定する場合の説明です。アラーム2を設定する場合は、アラーム1ボタンの代わりにアラーム2ボタンを押してください。

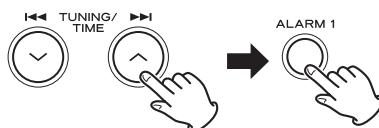
アラーム1の設定

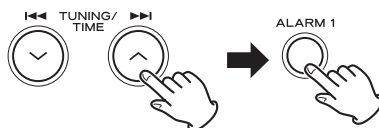
1 アラーム1ボタン(ALARM1)を約2秒押す。

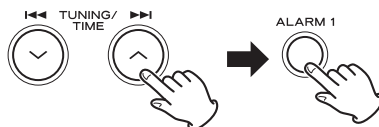
「時」表示、タイマーインジケーター (⏰1)が点滅します。

- 10秒以上放置すると、タイマー設定モードは解除されます。その場合は1からやり直してください。

2 タイムボタン(|◀◀/▶▶|)を押して開始時刻(時)を選び、アラーム1ボタン(ALARM1)を押す。

「分」表示が点滅します。

3 タイムボタン(|◀◀/▶▶|)を押して開始時刻(分)を選び、アラーム1ボタン(ALARM1)を押す。

開始時刻が設定され、再生ソースインジケーターが点滅します。

4 タイムボタン(|◀◀/▶▶|)を押してタイマー再生する再生ソース(CD、TUNER、USB、iPod、または電子音(BUZZER))を選び、アラーム1ボタン(ALARM1)を押す。

音量の値が点滅します。

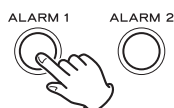
5 タイムボタン(|◀◀/▶▶|)を押してタイマー再生の音量を設定し、アラーム1ボタン(ALARM1)を押す。

タイマーモード時は、音量は5から最大30の間で設定できます。

- 音量4以下は設定できません。

タイマーの設定は以上で完了です。

アラーム2を設定する場合は、アラーム1ボタンの代わりにアラーム2ボタンを押してください。

タイマー機能のオン

1 タイマーを設定後、アラーム1または2ボタン(ALARM1/ALARM2)を押す。

タイマーインジケーター (1または2)が点灯します。

2 タイマー再生する再生ソース（iPod、CD、またはUSBメモリー)の準備をする。

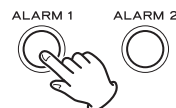
- iPodを選んだ場合は、iPod/iPhoneをセットしてください。
- CDを選んだ場合は、ディスクをセットしてください。
- USBを選んだ場合は、USBメモリーをセットしてください。
- TUNERを選んだ場合は、受信可能な放送局を選んでください。

3 本体の電源がオンの場合は、スタンバイ/オンボタン(⏻/I)を押してスタンバイにする。

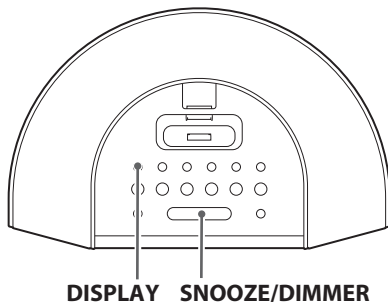
必ずスタンバイにしてください。電源がオンのままでは開始時刻になってもタイマーは動作しません。

- タイマー動作時は、小さい音量で始まり、徐々に大きくなって、前項5で設定した音量になります。
- 前項4でiPodを選んだのにタイマーの開始時刻にiPodがセットされていなかった場合、CDを選んだのにディスクがセットされていなかった場合、USBを選んだのにUSBメモリーがセットされていなかった場合、本機は電源をスタンバイにする前に受信していた放送局を受信します。
- 前項4でチューナーを選んだとき、最後に受信していた放送局を受信します。

タイマー機能のオフ

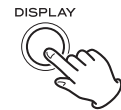
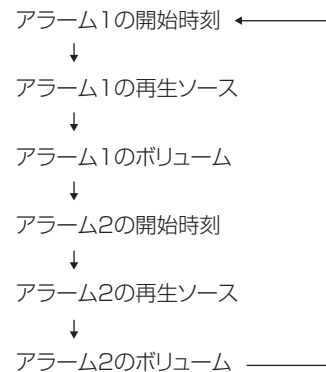
タイマー機能を使わない場合は、アラームボタン(ALARM1/ALARM2)を押してタイマー機能を解除してください。

タイマーインジケーター (1または2)が消灯します。

アラームボタン(ALARM1/ALARM2)を短く押すたびに、タイマー機能のオンとオフが切り換わります。

タイマー設定（続き）

スヌーズ機能

タイマー再生中にスヌーズボタン(SNOOZE)を押すとスタンバイになり、5分後に再び再生を始めます。
この機能は10回くり返し使えます。

- スヌーズモード中に、タイマーの終了時刻になった場合、スヌーズモードは自動的にキャンセルされ、スタンバイになります。

タイマー設定内容の確認

スタンバイのとき、ディスプレーボタン(DISPLAY)を押すたびに、タイマーの設定内容が以下の順番で表示されます。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にご連絡ください。

全般

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないか確認してください。

音がしない。

➡ 再生ソース切換ボタン(FUNCTION)を押して、聴きたいソースを選んでください。
➡ 音量ボタン(+)を押して音量を上げてください。
➡「MUTEING」が点滅しているときは、消音ボタン(MUTING)を押して消音モードを解除してください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

リモコンで操作できない。

➡ 電池が消耗している場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
➡ 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本体を移動してみてください。

テレビなどが誤動作する。

➡ 赤外線リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

iPod/iPhone

iPod/iPhoneをドックにセットできない。。

➡ お使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプターを本体にセットしてください。
➡ 本体とiPod/iPhoneのコネクター部分からほこりやゴミを取り除いてください。

再生できない。

➡ iPod/iPhoneをいったんドックから外し、数秒経ってからもう一度セットしてみてください。
➡ 最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。（9ページ）

操作できない。

➡ iPodのホールドスイッチを解除してください。

CD

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音済みのディスクを入れてください。
➡ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。また、ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

ラジオ

受信できない。受信状態が悪い。

➡ 選局ボタンを押して放送を受信してください。
➡ 受信状態が悪いときは、FMアンテナまたはAMアンテナの向きを変えてみてください。

FMステレオ放送なのにモノラルになる。

➡ FMモードボタン(FM MODE)を押して「ステレオ受信」に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦ACアダプターとバックアップ用リチウム電池を外し、約1分後に元に戻してから、もう一度操作してください。

仕　様

チューナー部

受信周波数(FM) ………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
(0.1MHzステップ)
受信周波数(AM) …………… 522kHz～1,629kHz
(9kHzステップ)

CDプレーヤー部

周波数特性 ………………… 20Hz～20kHz(±1dB)
ワウ・フラッター ………………… 測定限界値以下

スピーカー部

ユニット ………………………… 60mm×2
インピーダンス ………………………… 8Ω

一般

出力 ……………………………… 3W+3W
電源 ……………………… 100V, 50-60Hz
消費電力 ……………………………… 20W
外形寸法(幅×高さ×奥行) ……310 x 98 x 210 mm
(突起部含む)
質量 ……………………………… 2.1kg

付属品

リモコン(RC-1263)×1(B:黒 W:白)
リモコン用乾電池(単4形)×2
本体バックアップ用リチウム電池(CR2032)×1
ドックカバー×1
ドックアダプター×2
(iPhone4)
(iPhone 3GS, iPhone 3G)
ステレオミニプラグケーブル×1
AMループアンテナ×1
FMアンテナ×1
ACアダプター (PS-M1220JP)×1
取扱説明書(保証書付き)×1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

お手入れ

表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、CDドライブの動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

保証とアフターサービス

■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)もしくは代替品を製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

33ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

品名：iPod/iPhone対応ステレオCDラジオ
型名：SR-L280i
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

保 証 書

品名および型名	ステレオCDラジオ SR-L280i	
機番		
保証期間	本体	1年

お買上げ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	電話　(　　)

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	所在地・名称(印) 電話　(　　)

無料修理規定 <持込修理>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、下記ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に下記ティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、下記ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、35ページをご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは
AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは
ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0111・MA-1672B